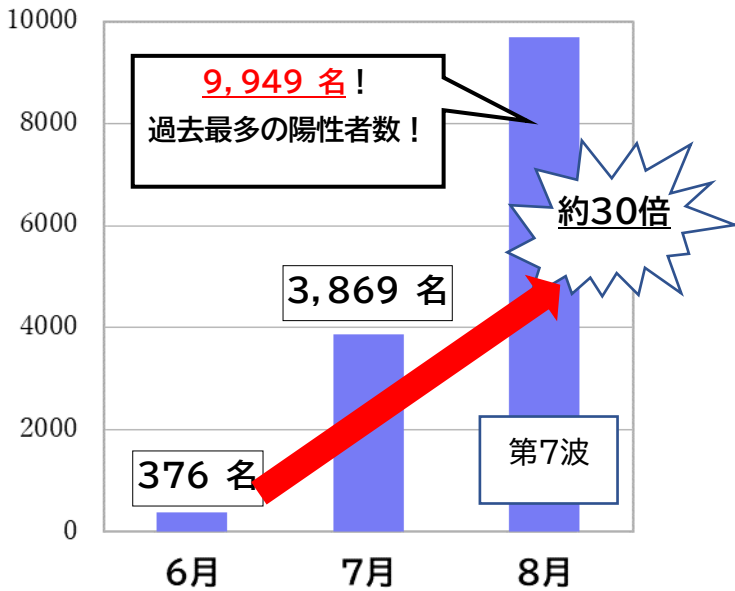


## オミクロン株“BA.5”への置き換わりで感染者数が急増！

福島市新規感染者数



BA.5とは、今年に入ってから流行がみられるオミクロン株が変異したウイルスの1種です。

感染対策は続けているのに増えているのはどうして？

### 《 BA.5 の特徴 》

#### ◎感染の速度が速い！

潜伏期間(感染してから症状がでるまで)が平均で3日と短く、すぐに周りへ感染を広げてしまいます。

#### ◎感染力が強い！

BA.2と比べると、1.27倍も人にうつしやすいウイルスです。

(国立感染症研究所の調査による)

オミクロン株のBA.2が主流

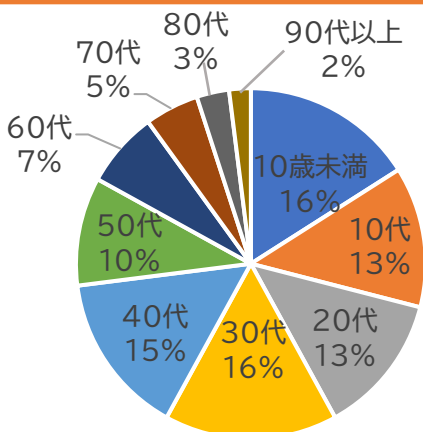
BA.5へ置き換わり始める

ほぼ100%がBA.5に！

適切な感染対策をしないと、さらに感染者数が増えてしまうね。BA.5にはマスクの着用、手指衛生(手洗い・消毒)、換気の継続が重要です！

## 陽性者の割合が高いのは、子どもと若い世代！

7・8月陽性者数の内訳



7・8月に報告のあった陽性者数の内訳は、グラフのとおり、10歳未満、30代の割合が一番多くなっています。次いで、40代となっており、家庭内感染が多いと想定されます。

## 感染を広げないために！

一緒に生活しているため感染がしやすく早めの探知と家庭内での対策が重要です。

早めの探知



症状があるときは休んで検査を！

手洗い



基本的な感染対策の徹底を！

換気



マスク



## 家庭内で感染を広げないための4+4つのポイント

### < 普段の生活から >

- ① 定期的な換気
- ② 共有部分のこまめな消毒
- ③ こまめな手洗い
- ④ ごみは密閉して捨てる

### < 症状がある方がいる場合 >

- ① 部屋を分ける
- ② マスクをつける
- ③ 症状のある方の世話は限られた方で
- ④ 汚れた衣類等は洗濯



結核予防週間 ▶ 9月24日～9月30日

## 「結核」は、過去の病ではありません！

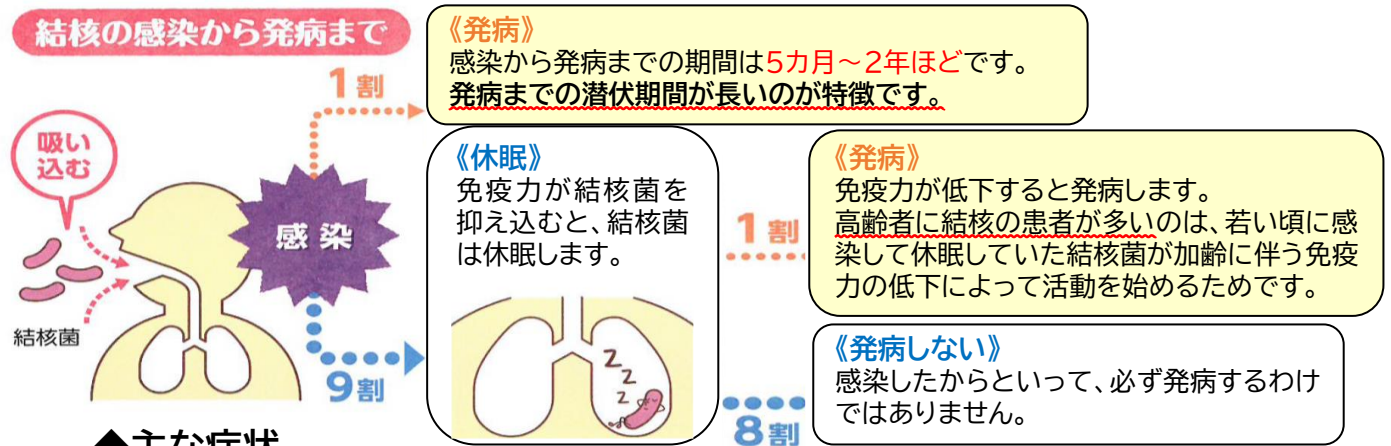
昨年(令和3年)、1年間で報告された新しい結核患者は、**全国で11,519人、福島県で101人、福島市で19人**でした。  
福島市の結核患者は**65歳以上の高齢者が約8割**を占めています。  
若い世代での結核患者も報告されています。

今でも1日に35人の新しい患者が発生し、5人が命を落としている**日本の重大な感染症**です。



### ◆結核はどんな病気？

結核は、結核菌によって主に肺に炎症を起こす病気です。  
結核を発病し重症化している人の咳やくしゃみとともに、結核菌が空気中に飛び散り、それを同じ空間にいる人が吸い込むことで感染します。  
6～9カ月間、毎日きちんと薬を飲めば治ります。



### ◆主な症状

長引く咳、痰などの呼吸器症状、微熱、体重減少(食欲低下)、だるさなどがあります。  
このような症状が続く場合は、医療機関を受診しましょう！

### ◆予防方法

感染・発症予防どちらにも共通することは『**体の免疫力を高めておく**』ことです。  
バランスのよい食事と十分な睡眠、適度な運動など、規則正しい生活を心がけましょう！  
また、抵抗力の弱い**赤ちゃんは、結核に感染すると重症化しやすい**ため、**BCG ワクチン接種が有効**です。厚生労働省では、生後1年までの接種を推奨しています。

### ◆早期発見

結核は早期に発見されれば、薬がよく効き早く治りやすいですが、発見が遅れると重症化し、周囲の人に感染させてしまうこともあります。  
特に**高齢者は、症状が目立たず気づかぬうちに進行してしまうことがあります。**  
症状がなくても、年に1回は、胸のレントゲン検査を受けましょう！  
精密検査が必要となった場合には、必ず医療機関を受診しましょう。

地域の皆さん一人一人が、適切な予防・受診行動を意識することで、  
新型コロナウイルス感染症だけでなく様々な感染症に強いまちづくりを目指しましょう！

発行日:令和4年9月21日 発行元:福島市保健所 保健予防課 感染症対策係  
電話:024-572-3152 住所:〒960-8002 福島県福島市森合町 10-1

